

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7年 1月 21日

協議会名: 須崎市地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
須崎市	南～須崎線	〈前回の評価結果の概要〉 「須崎駅とコミュニティバスの接続」を含め、今後も地域のニーズ及び利用状況と、サービス内容との整合性について検証し、必要と判断される場合は、サービス内容の見直しも含めて検討すること。 〈評価結果の反映状況〉 JRを含めた各公共交通機関とコミュニティバスの接続等については、要望の聞き取り等により、見直しに向けて検討を行っている。 また、利便性の向上について、とさでん交通の「マイ時刻表」(バスロケーションシステム)への掲載により、スマートフォン等から運行状況や時刻、運賃等を確認できるようになった。 あわせて利用環境の改善については、市役所前バス停が歩道幅が狭く危険であったため、広い箇所へ移設を行った。	A 計画通り、事業は適切に実施できた。	B 【乗客数】 目標達成率:92.3% 目標 :20,523 人 実績 :18,946 人 対前年比 :104.4% 対前々年比:98.3% 【運賃収入】 目標達成率:109.2% 目標 :3,948,000円 実績 :4,312,550円 対前年比 :117.2% 対前々年比:96.8% 【収支率】 対前年比 :0.4% 対前々年比:▲0.8% 乗客数は目標を下回ったものの、運賃収入では目標を上回っており、市民の移動手段として役割を果たした。今後は利用者を増やすため、さらなる周知に取り組むとともに、他の公共交通機関との接続による利便性向上を図る必要がある。	運行時刻やルートの変更について、小中学校統合に伴う児童生徒の通学利用を想定するほか、住民等から要望のある多ノ郷駅前(北側)を通るルートを検討を含むJRなど他の公共交通機関へのスムーズな乗り継ぎ等について、関係機関と協議・検討を行う。 市営バスの利用促進については、今年度導入した「マイ時刻表」の周知を図るとともに、同サービス等を含めた他公共交通機関との乗換え・接続情報の入手を容易にすることで、観光客等の利用拡大を図る。